ご挨拶

本校は、由緒ある伊祖城跡を望む歴史と文化に恵まれた地に位置し、長年にわたり地域とともに歩みを重ね、創立以来、商業教育を通して社会に貢献できる人材の育成に努め、多くの優れた人材を社会へ送り出しております。

浦商生の志を表す校章

本校の校章には、若い大鷲がペンをしっかりと握り、鋭い眼差しで四海を見据える姿が描かれています。その姿は、国際化・情報化社会の中で知を磨き、伊祖城にゆかりのある英祖王の徳を受け継ぎながら、世界の荒波に雄々しく羽ばたこうとする浦商生の姿を象徴しています。

伝統と実績が育む浦商の強み

本校はこれまで、県内商業高校として初めて甲子園出場を果たし、春夏合わせて 5 度の出場という輝かしい歴史を築いてまいりました。また、商業英語スピーチ全国大会での 5 回にわたる最優秀賞受賞をはじめ、女子ハンドボール部の全国大会準優勝、女子ソフトボール部・男子ハンドボール部県大会優勝など、スポーツや文化活動においても全国の舞台で数多くの成果を収めています。さらに、商業実務競技大会における簿記・ワープロ・情報処理競技での優勝や、生徒商業研究発表大会九州大会での最優秀賞受賞など高い評価を得ています。

これらの実績は、生徒たちの努力はもとより、保護者や地域の皆様、同窓生の皆様、そして歴代教職員が築き上げてきた本校の伝統と誇りの結晶です。

多様な進路実現を支える商業教育

本校の大きな特色の一つは、高い進路決定率を維持していることです。専門高校の強みである就職においては、毎年多くの生徒が県内外の企業へ進み、社会の第一線で活躍しています。

一方で、近年は大学進学を希望する生徒も増えており、国公立大学や私立大学へ進学する生徒が着実に増加しています。商業科で学んだ簿記や情報処理、マーケティングなどの専門的な知識や資格を活かしながら、さらに高度な学びへ挑戦する生徒も多く見られます。

これからの大学全入時代を見据えると、専門高校においても大学進学を目指す生徒はさらに増えていくことが予想されます。本校では、専門教育の特色を活かしながら、就職にも進学にも対応できる教育環境を充実させ、生徒一人ひとりの夢や目標の実現を力強く支えてまいります。

校訓「自知精進」

『国際理解と協調性が求められる今日、自分自身の使命を自覚し、他者をも共感的に理解しようとひたすら努力するとともに、勇気をもって目標に立ち向かう実践力のある自主的人間の育成を目指す』という願いが込められています。

私はこの校訓のもと、生徒一人ひとりが自らを知り、自らを高めながら、多様な価値観を尊重し、社会に貢献できる人材へと成長してほしいと願っています。

本年度　学校スローガン「原点回帰」

創立の原点に立ち返り、先人たちが築き上げてきた伝統と誇りを見つめ直しながら、その価値を次の世代へと継承し、新しい時代に対応した教育の充実を図ってまいります。

変化の激しい時代だからこそ、原点を大切にしながら未来へ挑戦する学校であり続けたいと考えています。

本年度　キャッチフレーズ「Go Go 浦商」

「本校がより良き方向へ進み、地域へ発信する学校」という思いが込められています。生徒、教職員、保護者、地域の皆様、そして同窓生の皆様と心を一つにしながら、地域に信頼され、地域とともに発展する学校づくりを推進してまいります。

結びに

生徒一人ひとりが夢や希望を抱き、自らの可能性に果敢に挑戦できる学校、そして地域に愛され誇りに思っていただける学校を目指し、教職員一丸となって教育活動の充実に努めてまいります。

今後とも、本校教育活動への温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Go Go 浦商！
沖縄県立浦添商業高等学校
校長　神谷 和彦